



松明

(令和4年1月発行・隔月発行) 2022 vol. 1



P2 古川浩三郎名誉院長 瑞宝中綬章受章より

「令和4年 年頭のごあいさつ」

独立行政法人国立病院機構福島病院 病院長 杉浦嘉泰



新年明けましておめでとうございます。当院は病棟改修工事を行い、重症心身障害児（者）病棟と神経難病病棟を新病棟に移転して一年が経ちました。重症心身障害児（者）病棟は東北地方でも有数の規模で、新生児特定集中治療室（NICU）での診療経験がある小児科専門医と小児神経専門医が診療に当たっており、福島県における post NICU の機能を果たしております。また、脳神経内科は開設から5年目に入り、人工呼吸器を装着した ALS や筋ジストロフィー等の神経難病の入院患者さんが多くなりました。こうした重症心身障害児（者）医療と神経難病医療に特化した、セーフティーネット医療は国立病院機構の重要な役割と考えており、本年も福島県の医療に貢献できるよう職員一丸となって取り組んで参ります。

さて、新型コロナウイルスが地球上に蔓延して2年が経ちました。当初ワクチン接種による感染収束が期待され、本邦では昨年秋に感染者数は減少しましたが、オミクロン株の出現により今年に入り再び急増しております。当院では重症心身障害児（者）病棟や神経難病病棟で人工呼吸器を装着した、重症化リスクが極めて高い患

者さんが多数入院されております。このため新型コロナウイルスを病棟へ持ち込まないことが、入院患者さんの生命を守る為に当院が行い得る最大限の対策と考えております。これまで全職員とその家族は緊張感を持って感染に留意した生活を送り、検温などの体調管理に万全を期すとともに、入院患者さんご家族の直接の面会を制限し、iPad を用いたリモート面会に変更しております。こうした感染対策により、患者さんやご家族、地域の医療機関の皆様には様々なご負担をおかけしております。

新型コロナウイルスとの闘いも3年目に入り、内服薬の登場やウイルスの変異による臨床症状の変化などにより、昨年と少し様相が変わってきておりますが、入院患者さんの安全が確保できるまでは、このような診療体制が続くこととなります。当院の病院機能をご理解いただき、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本年も診療体制の更なる充実を図り、地域の医療機関との連携を強化し、福島県の医療に貢献できるよう職員一同努めて参ります。本年は明るい兆しが見える年になりますよう祈念し、年頭のご挨拶といたします。

本号のご案内

- 「令和4年 年頭のごあいさつ」 1
- 古川浩三郎名誉院長 瑞宝中綬章受章 2
- 寅年を迎えて 年男・年女より「今年の抱負」 3
- 療育だより メリークリスマス 4
- 七五三おめでとうございます！ 4
- 健康プラザ フレイルについて 5
- 外来担当医表 6

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療で地域や社会に貢献」を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

古川浩三郎名誉院長 瑞宝中綬章受章

管理課 庶務係 熊澤 龍

この度、令和3年秋の叙勲で、当院の名誉院長 古川浩三郎 先生が、瑞宝中綬章を受章されました。

長きに亘り、国立医療機関の発展に一途に尽くした幾多の功績、併せて地域医療に貢献された功績が高く評価されたもので、誠に喜ばしく心からお喜び申し上げます。

※通常、瑞宝中綬章は内閣総理大臣の命を受け、内閣府賞勲局長が所管大臣に伝達し、所管大臣より受章者に伝達されるのですが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年春以降から、皇居での天皇陛下への拝謁と伝達式は中止となったため、当院の杉浦院長より、勲記・勲章の伝達となりました。



●写真前列左より

石井副院長・古川浩三郎名誉院長・杉浦院長

●写真後列左より

坂本看護部長・川崎事務部長

古川 浩三郎 名誉院長 略歴

昭和43年3月 福島県立医科大学医学部卒業

昭和44年4月 福島県立医科大学整形外科医局入局

昭和52年1月 国立郡山病院採用

昭和52年7月 第二整形外科医長に昇任

昭和55年4月 整形外科医長に配置換

平成9年12月 副院長に昇任

平成15年4月 国立療養所福島病院院長に昇任

平成16年3月 国立福島病院院長に配置換

平成16年4月 独立行政法人国立病院機構福島病院院長に転任

平成22年3月 定年退職

同日付けをもって国立病院機構福島病院名誉院長の称号を授与退職後も国立病院機構福島病院非常勤医師として現在も勤務され、診療及び病院運営に尽力し現在に至る。



寅

寅年を迎えて「今年の抱負」



事務部
管理課 庶務班長
池上 静男
(いけがみ しずお)

●新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

今回、年男を迎えるにあたり「今年の抱負」の原稿依頼がございましたので一言ご挨拶申し上げます。

福島病院に赴任して2年が経とうとしていますが、コロナウイルス感染症の収束にはまだまだ時間がかかる様子であり、早く収束するのを節に願うばかりです。

年男は5回目であり、そして還暦60歳、定年を迎える年になってしまいました。「月日が流れるのは早いなあ」と改めて感じております。これまで国立病院機構で長い間勤務が出来たのも転勤先の諸先輩方の指導や、職場の同僚、部下に恵まれたからと感謝しております。

ラスト一年、福島病院、そして職員の皆様にご尽力できるよう気持ちも新たに「騎虎の勢い」で頑張りたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



医局
小児科医長
石井 希代子
(いしい きよこ)

●新年あけましておめでとうございます。

平成22年10月から福島病院に就職し、早11年が経過しました。上司、皆様に支えられ、感謝をしつつ、日々忙しく過ごしています。

私は干支は虎で、星座はしし座です。雑誌を見ると強そうに書かれているのですが、実はちょっと強さが足りません。そこで、今年の抱負はまさに虎！「虎のような医師になること」にしました。強靱な肉体と強い精神力で患者さんを守り、俊敏な行動で病をやっつける、そして温かい毛皮で患者さんを優しく包む、そんな医師を目指したいと思います。

コロナ禍で世間は暗い話題が多いですが、その中でも小さな幸せや楽しいことを見つけ、皆で笑いあって過ごしていきたいです。皆様にとって楽しく、幸せな一年でありますように。

今年もよろしくお願い致します。



看護部
第5病棟 看護師
小松 晃
(こまつ あきら)

●新年明けましておめでとうございます。

福島病院に入職してから14年が経ち仕事に無我夢中で頑張ってきてあっという間に時間が過ぎ長いようで短かったように思います。

長年、重度心身障害児(者)病棟に勤務していますが最近は業務に追われ、なかなか患者様とコミュニケーションをとることが少なくなっているように思われますが、時間を見つけては患者様に自分が演奏するギターや歌を聞いて頂いたりして楽しく感じることもあり患者様の笑顔を見るととても癒されます。

今年是一年男、36歳を迎える歳になってしまいましたが、気持ちは若く仕事を楽しみながら、多少の不安はありますが、充実した1年になるように頑張っていきたいです。

次の年男を迎える48歳までには奇跡が起きて結婚できているといいなと思います。



リハビリテーション科
作業療法士
藤井 瀬凧
(ふじい せな)

●4月から新社会人として福島病院に入職し、1年が経とうとしています。リハビリテーション業務や事務作業などわからないことが多く、自分の勉強不足を痛感する一年でした。先輩方にご指導いただき、少しずつではありますが作業療法士としての仕事を行えるようになってきたのではないかと考えています。

また新社会人になると同時に初めての一人暮らしも始まりまして。以前まで経験のなかった料理が趣味になり、休日を楽しく過ごすことができるようになりました。

昨年は手一杯になり、作業療法士としてのスキルアップに力を入れることができませんでした。今年も教えてもらったことを含め、自分から学びを深めることができるように研修等へ参加していきたいです。そして患者様が楽しく訓練をしていけるように努力していきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

本格的な寒さに冬の訪れを感じる時期になりました。街がイルミネーションでキラキラ輝いている頃、福島病院内や院外もイルミネーションやクリスマス飾りで一段と明るくなりました。

一年に一度の大きな行事でもあるクリスマスへの期待感も同時に高まっていく中、各病棟工夫を凝らしたわくわく感でいっぱいクリスマス会が行われました。神父に扮したスタッフとのキャンドルサービス、帽子やカチューシャを付け患者様、スタッフが楽器を使い盛り上がったクリスマスソング、待ちに待ったサンタクロース登場！そして、プレゼント等々。患者様、スタッフにとりましてわくわく感がいっぱいのクリスマス週間となり、心も身体もぽっかぽかの温かい時間を一緒に過ごす事が出来ました。

最後に、一年の締めくくり大きな行事を終え、来年も患者様に楽しんでいただける様、一つ一つの行事を工夫しながら大切に進めてまいりたいと思います。



去る7月26日(月)・11月15日(月)に6病棟に入所する3歳と5歳を迎えられた2名のお子さんの成長を願い、ご家族と共に七五三のお祝いを行いました。ご家族が準備した素敵なスーツや袴を身に着け、普段と違った姿に一段と可愛らしく見えました。

今回の七五三は、須賀川市の諏訪(すわ)神社をイメージしました。石井副院長や河原田小児科部長に神主をやっていただきお祓いや祝詞をあげ2名のご祈祷を行いました。神社への参拝もご家族と一緒にいき、本物の神社でお参りをしているようでした。最後には家族写真を撮り、思い出に残る日になったのではないかと思います。

コロナ禍で会えない期間が続き、ご家族からはお子様の成長や久しぶりに顔を見ることが出来て涙を流す様子が見られました。今回、お二人の成長を一緒にお祝いで

きたことを嬉しく思います。今後も、ご家族や患者さんに寄り添いながら支援を行って参ります。七五三を迎えたお二人様、本当におめでとうございます。



フレイルとは、「加齢により心身の活力（運動機能や認知機能など）が低下した状態」とされており、健康な状態から要介護状態へ移行する中間の段階を意味します。

Fried が提唱したフレイルの診断基準は、5 項目あり、3 項目以上該当するとフレイルと判断されます。

フレイルの診断基準

1. 体重減少：意図しない年間 4.5kg
または 5% 以上の体重減少
2. 疲れやすい：何をするのも面倒だと週に 3～4 日以上感じる
3. 歩行速度の低下
4. 握力の低下
5. 身体活動量の低下

フレイルの状態は、死亡率の上昇や身体能力の低下、免疫力が下がり何らかの病気にかかりやすくなるなど、ストレスに弱い状態であるため、日常生活からフレイル予防を意識してみましょう。

運動機能向上のためには、最低限「30 分以上の運動を週 2 日以上」行うことが必要とされています。また筋肉量の増加や筋力増強には、歩行運動に自分の体重を負荷する筋力トレーニングなどをプラスすることが必要です。歩行運動は「1 日 8,000 歩・そのうち早歩きを 20 分行う」ことが適切な身体活動量とされています。「健康づくりのための身体活動基準 2013」から、運動の一部を抜粋し、図 1・2 に提示しました。興味のある方は、ご一読いただければ幸いです。関節痛がある・体力の低下を感じている方は、転倒や骨折に注意し、自分の能力に合わせて、少しずつ始めてみて下さい。

大股で地面を力強く蹴って歩く
うっすらと汗ばむ程度に早歩きをする
息が弾むぐらいのペースで歩く



図 1 歩行運動

お尻の上げ下ろしをゆっくり 10 回行う
※注意点 背中をまっすぐにする
踵を浮かさない

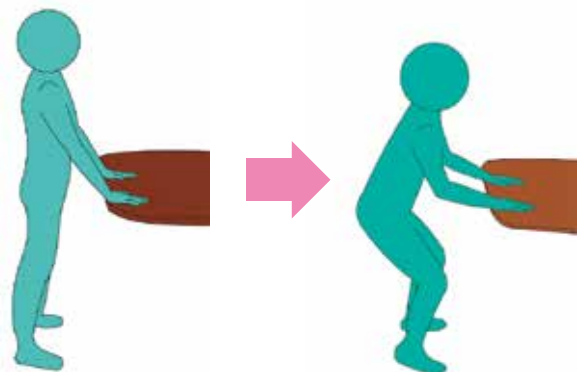


図 2 スクワット

●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和4年1月1日より】

区	分	月	火	水	木	金
内科	1	安田千尋	安田千尋			安田千尋
内科	2	佐藤由紀夫 (第1・3)				
内視鏡検査					安田千尋	
脳神経内科		伊藤英一	根本和夫	伊藤英一	根本和夫	杉浦嘉泰
小児科		福島医大	石井勉 氏家二郎	石井勉		河原田勉
専門外来 (発達小児クリニック)			石井勉 氏家二郎			河原田勉
専門外来 (小児神経外来)				石井希代子		
専門外来 (小児循環器外来)				桃井伸緒 (第2・4)		
小児専門外来		予防接種 (午後)				
整形外科		古川浩三郎		古川浩三郎		古川浩三郎
小児外科					清水裕史	
脳神経外科			福島医大 (第2)			

●完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。

●受付時間は**午前8:30～11:00**までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。

●外来担当医表は令和4年1月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談(月～金 9:00～17:00)

診療の予約・変更等(月～金 15:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

落ち着いたと思った新型コロナウイルス感染症ですが「デルタ株」からまた新しい変異株「オミクロン株」の感染者が福島県でも増加傾向にあります。当院も感染対策としてマスクの着用、手洗い、アルコール製剤による手指消毒の励行の強化等、職員全員で感染防止に取り組みんでいます。コロナに負けずに頑張りましょう!! (編集委員 T)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 **福島病院**

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地

☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>